

取扱工事説明書

このたびは、TBC商品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。取付施工手順の際、商品の機能が十分に発揮できるようにこの説明書をよくお読みの上、使用条件にそって正しく施工して下さるようお願いいたします。
また、この説明書は施工完了後に必ずお客様にお渡しください。

目次

1.安全上のご注意	1
2.取付け前の確認事項	2
3.器具の取付け	3
4.仕様・寸法・構成図	8
5.使用上のご注意(お客様へ)	9

TBC FLAT SERIES TABUCHI

横水栓・ホース接続(壁内蔵型洗濯機用単水栓)

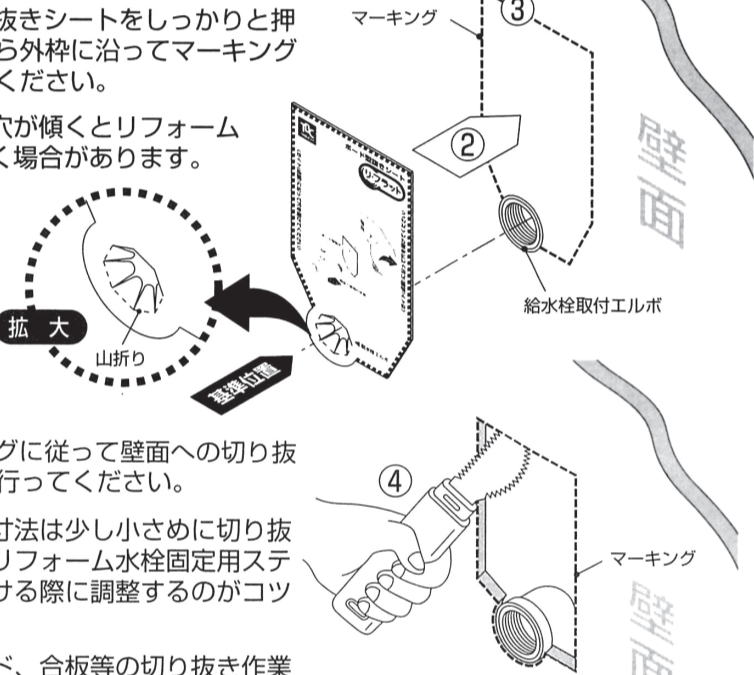
SP110ORS (緊急ストッパー付)
SP110ORSA (緊急ストッパー付・封入圧緩衝式)
SC110OR (寒冷地・逆止弁無)

2.ボード型抜きシートの給水栓エルボ(矢印)の折線部を壁面の給水栓エルボのネジ部にガイドとなるよう押し当ててください。給水栓エルボを基準位置とし、水平且つ垂直に壁に当ててください。

※壁板施工前に穴を開ける場合は寸法図を参照してください。

3.ボード型抜きシートをしっかりと押さえながら外枠に沿ってマーキングを行ってください。

※切り抜き穴が傾くとリフォーム水栓も傾く場合があります。



4.マーキングに従って壁面への切り抜き作業を行ってください。

※切り抜き寸法は少し小さめに切り抜き作業のリフォーム水栓固定用ステーを取付ける際に調整するのがコツです。

※石膏ボード、合板等の切り抜き作業には専用工具が便利です。イラストはボード専用半月ノコ。

※穴の空き過ぎにはご注意ください。

壁板の切り抜き加工の注意事項

- 壁板の切り抜き作業は壁内空間の障害物に注意しながら行ってください。水道配管、ガス配管、電線等への傷や切断により人身障害の恐れがあります。
- 壁板に穴を開ける寸法は必ず、型抜きシート及び寸法図どおりに行ってください。カバープレートの接触や隙間により、美しく取付けができなくなります。

-4-

1 安全上のご注意

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
又、この取付工事説明書は、ご愛用のしおりと共にお客様で保管頂くように依頼してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

注意 この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

- この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

＜取付条件＞施工前には取付可能かどうかの確認を行ってください。

- 取付面(壁)がボード以外の場合は取付不可。(タイル・コンクリート等)
- 壁板厚寸法: 5mm~15mm(それ以上はビス交換により対応可)
- 壁内空間: 35mm以上(壁内の障害物にご注意ください)
- 壁内空間に取付け不可となる障害物が無きこと(詳しくは次項の取付け前の確認事項をご参照ください)

＜施工上の注意事項＞

- 施工時には、防護帽、防護眼鏡、手袋等を身に付けて作業を行ってください。切断した木片、ボード等でけがをするおそれがあります。
- 施工前に上記条件を満たしている事を確認し、施工作業を行ってください。施工途中での不可判明は施工面に加工及び修繕が必要になります。

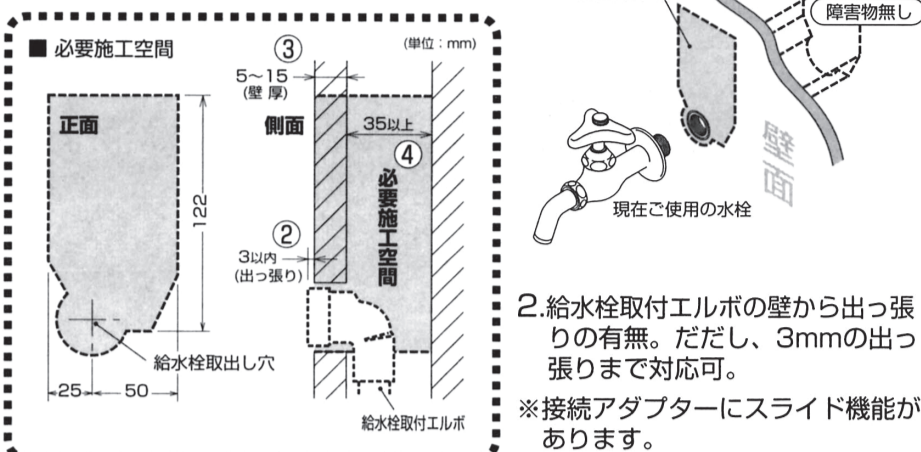
施工の前には、「取扱工事説明書」を熟読し正しく施工してください。

-1-

2 取付け前の確認事項

本品は既存の水栓(単水栓に限る)を取り外し、壁に新たに開口部を設け取付けを行います。事前に取付け可能かどうかの確認を行ってください。特に給水栓取付け穴より上部の壁内空間はリフォーム水栓の固定場所になりますので良く確かめてください。

1.窓の設置位置や壁内空間に配管、電線、当木等の設置の有無(一部加工を行う事で取付可能になる場合があります)



3.取付対応壁板厚5mm~15mm

※付属品のビスをネジ長さの長いものに交換する事でそれ以上の壁厚に対応可能になります。

＜取付け前の確認事項＞

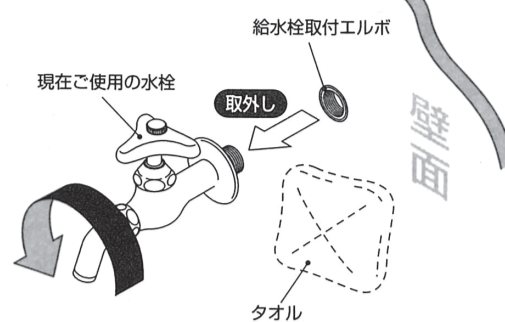
- 施工条件の確認はしっかりと行ってください。施工途中の取付不可判明は壁等の加工及び修繕が必要となるおそれがあります。

-2-

3 器具の取付け

1.既存の水栓を取り外す

給水の元栓を閉め、既存の給水栓を取り外してください。また、給水栓を取り外す際は水栓の周りにタオル等を設け、給水栓や配管内に溜まった水を受けるようにしてください。



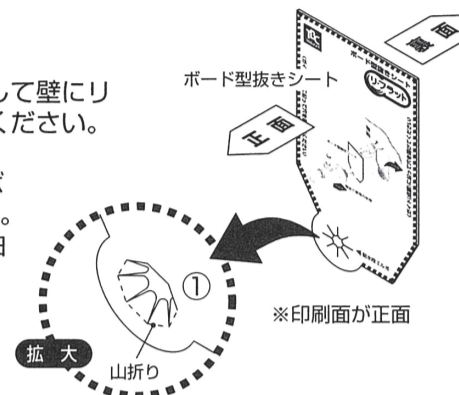
＜既存の水栓を取り外す上での注意事項＞

- 給水栓を取り外す際は水栓の周りにタオル等を設けてください。溜まり水により壁等の家財を濡らすおそれがあります。

2.壁板の切り抜き加工

同梱のボード型抜きシートを使用して壁にリフォーム水栓取付用の穴を開けてください。

1.ボード型抜きシートの給水栓エルボ(矢印)の折線部を壁面に折曲げてください。尚、折曲げ方向は裏面に向けて折曲げてください。



-3-

3.リフォーム水栓のバルブを閉じ、実際に通水を行い接続部の漏水確認を行ってください。出荷時にはリフォーム水栓のバルブは解放していますので付属のハンドルを仮装着しバルブを閉じてください。

＜リフォーム水栓の固定の注意事項＞

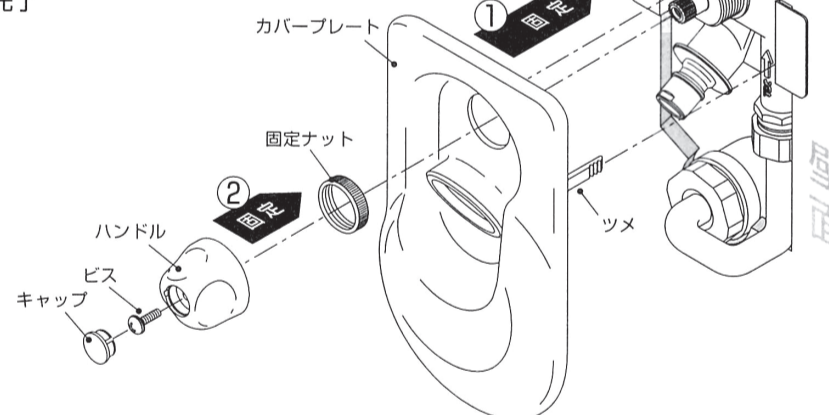
- 固定の際は左右2カ所のビスを均等に締めてください。不均等な締め付けはステーの破損につながりカバープレートが正しく固定出来なくなります。
- 固定の際、電動ドライバーは使用しないでください。必要以上の力はステー及び壁の破損につながります。
- 上部ビスの本締めは行わないでください。左右2カ所のビスで十分な固定が行えます。
- 配管終了後は必ず水栓のバルブを閉じ、漏水確認を行ってください。漏水は家財等の財産損害になるおそれがあります。

6.カバープレート及びハンドルの取付け

1.カバープレートのツメを固定用ステーのツメ穴に合うよう挿入し、固定ナットで締付けを行ってください。

2.カバープレートのズレ、カタツキが無いことを確認した後、ハンドルをビスで固定してください。
※固定ナットの締め付けは必ず手締めで行ってください。

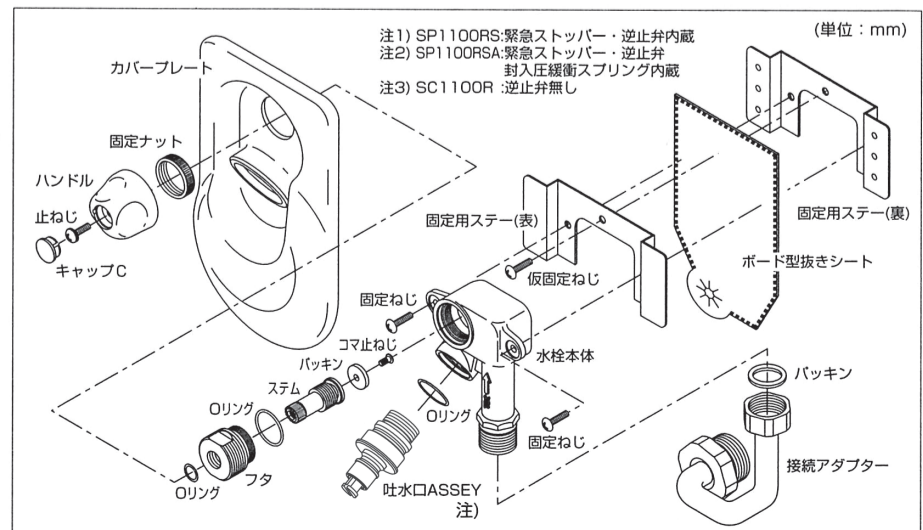
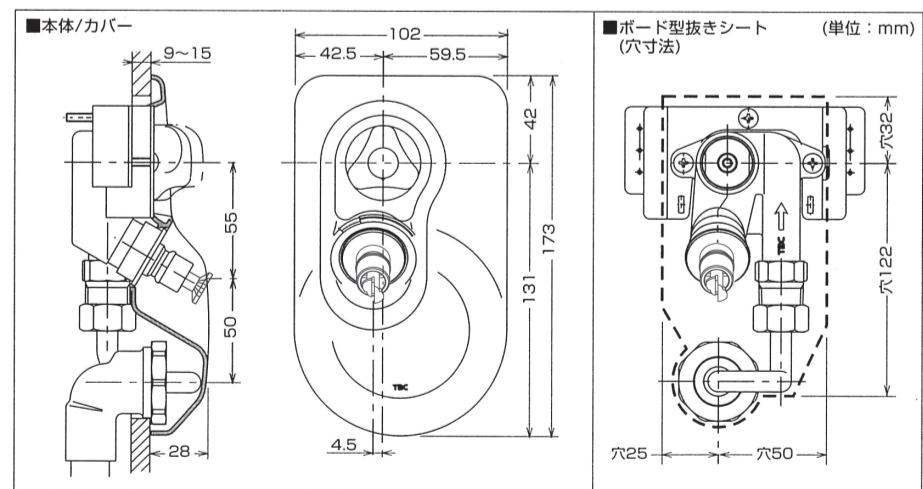
3.完了



-7-

4 仕様・寸法・構成図

型番	SP110ORS	逆止弁・緊急ストッパー	＜取付条件＞	壁内空間:35mm以上
型番	SP110ORSA	上記仕様・封入圧緩衝式		ボード壁:5mm~15mm
型番	SC110OR	寒冷地用(逆止弁無し)		対応カバー:日本電気工業規格JEM1206



-8-

5 使用上のご注意(お客様へ)

■洗濯機用カプラーホースの接続

本製品は洗濯機付属のホース接続用カプラーに対応しています。(日本電気工業規格JEM1206)洗濯機の付属のホースを図のように引きながら、水栓の吐水口に挿入してください。また、カプラーのつめはカバープレートのくぼみへ引っかけてください。接続後はホースを軽く引っ張りホースが簡単に抜けないこと確認してください。

※カプラーが正しく接続できない場合はカプラーの形状が違うおそれがあります。規定のカプラーをお買い求めください。(日本電気工業規格JEM1206適合品)
※カプラーを抜く時はつめを立てて上記と同じ要領で抜いてください。

＜洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項＞

- 洗濯機用カプラーホースを接続する際は上記図のように正しく挿入してください。強引な挿入により部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
- 〔緊急ストッパー付の場合〕洗濯機用カプラーホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じ、吐水口内の水圧を抜いてから接続してください。水圧により接続が固い場合があります。
- 〔緊急ストッパー付の場合〕万が一、洗濯機用カプラーホースが外れても自動的に漏水を防止する機能を備えておりますが、洗濯機を使用しない時は必ず水栓のハンドルは閉じてください。

■お手入れについて

- 水栓器具がいつまでも美しさを保つよう、次の要領でお手入れをしてください。
- 普段は柔らかい布に水またはぬるま湯を浸し、よく絞った後よこれを拭き取ってください。
- よごれのひどい場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、浸した柔らかい布でよごれを拭き取ってください。その後、乾いた柔らかい布で磨いてください。

-9-

注意
酸性洗剤・塩素系洗剤・鉱油性潤滑油・シンナー・ベンジンなどは樹脂部品を傷めますので使用しないでください。本製品はカバープレート等に樹脂製品を使用しております。

■洗濯機用カプラーホースが外れた時の対処法

(緊急ストッパー付: SP110ORS・SP110ORSA)
万が一、通水中に洗濯機用カプラーホースが外れた場合や洗濯機用カプラーホースを接続せずに水栓のハンドルを開けた場合には吐水口に内蔵された緊急ストッパーが作動し、水が漏れない構造になっています。再度、洗濯機用カプラーホースを接続する場合は下記の要領に従って行ってください。

- 水栓のハンドルを右に回して水を止めてください。
 - 吐水口に溜まった水がこぼれないように吐水口周りにタオル等を設け、緊急ストッパーのシャフトを手などで押してください。(吐水口内部の水圧が抜けず)
- ※水圧が高く緊急ストッパーのシャフトが動かない場合は、固いもので軽く上方向へ叩けば水圧が抜けスムーズに動きます。
- 前項の洗濯機用カプラーホースの接続に従って接続を行ってください。

＜洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項＞

- 洗濯機用カプラーホースの接続の際は必ず水栓のハンドルを閉じてから行ってください。水の飛び散り及び部品破損の原因となり、漏水の原因となります。

-10-

修理の際はお求めの工店にご依頼ください。なおご不明な点は最寄りの当社事業所までご相談ください。

水と暮らしを結び
株式会社 **タブチ** 商品のお問合せは
TEL 06-6708-0150 (代) FAX 06-6708-0210
受付時間: 9:00~18:00 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)